

『未知への挑戦』とくしま行動計画」 の変更について

令和3年3月
徳島県

項目

1 見直しの概要

- ▶ 未知の世界への羅針盤となる「行動計画」の進化！

2 主な見直し項目

- ▶ A・既存の数値目標等を「廃止」する項目
- ▶ B・「ニューノーマル仕様」を「ハイブリッド」する項目
- ▶ C・「ニューノーマル仕様」はじめ全く新たな手法で推進する項目

3 行動計画編の構成事業等の「重点化」

- ▶ 「重点項目」の設定について

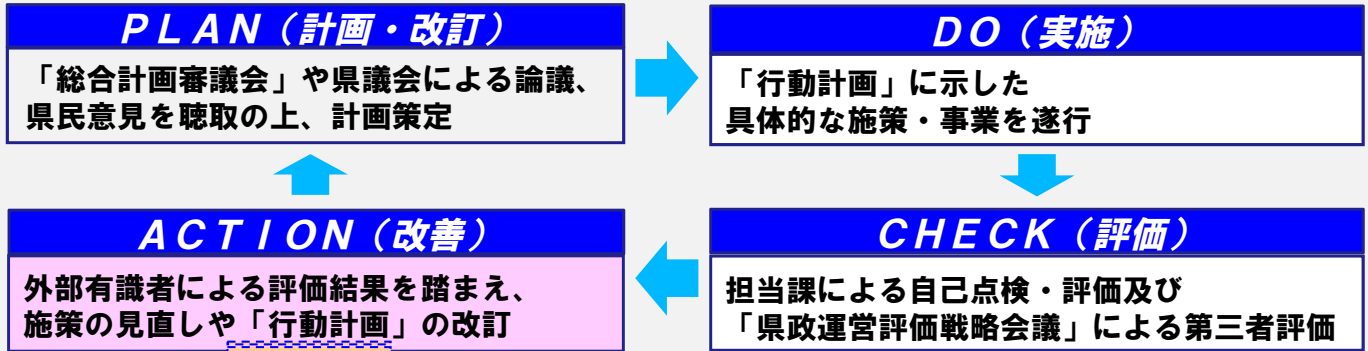
1 見直しの概要

- ・ 変化する社会経済情勢や多様化する県民ニーズに的確に対応
- ・ 「県議会」における御論議や「県政運営評価戦略会議」の評価、さらに「総合計画審議会」をはじめ、県民からの提言・意見の反映

⇒ 「進化する計画」として令和3年度に向けた見直しを行い、2月県議会定例会において議決

「PDCAサイクル」による検証と改善を実施

行動計画を推進



◆ コロナ禍による「**未曾有の国難**」を乗り越えるため、行動計画編の「**抜本的な再構成**」を行い、「**ニューノーマル**」に適応させる。

3

未知の世界への羅針盤となる「行動計画」の進化！

R元年度

プレコロナ

R2年度

WITHコロナ

R3年度～

アフター
コロナ

人口減少

災害列島

新型コロナ

未曾有の国難「新型コロナ」による社会変容

新型コロナをはじめとする「3つの国難」に迅速かつ適確に対応すべく、「デジタル社会の実装」「グリーン社会の実装」を強力な武器として、「行動計画編」の構成事業等の「重点化」を行う。

「デジタル社会」の実装

「グリーン社会」の実装

「WITHコロナ」を乗り越え、
「アフターコロナ」を見据えた未来への取組を加速！

4

2 主な見直し項目

A・既存の数値目標等を「廃止」する項目

- 「インバウンド誘客」関係の数値目標等を廃止
「外国人延べ宿泊者数」
「クルーズ客船来県者数」など(目標廃止)

B・「ニューノーマル仕様」を「ハイブリッド」する項目

オンライン・ヴァーチャルとの併用

- 農業系大学生等インターシップ：オンライン体験者追加
[H29]176名 → [R4]400人(180人)
- 徳島ウォルトイス・徳島インテイクソックス：
[R3～]「オンラインイベント参加者数」を追加(内容追加)
- 徳島国際映画祭：
「#徳島ニューノーマル映画祭」を追加(内容追加)
- 婚活支援：
「オンライン婚活を推進」を追加(内容追加)

新しい生活様式の導入

- 複合災害に備える「サ」避難所確保に着手した市町村
[R3]19市町村(新規項目)

C・「ニューノーマル仕様」はじめ全く新たな手法で推進する項目

デジタル社会の構築

- 「GIGAスクール構想」端末活用事例数 [R4]200件(新規項目)
- ローカル5G環境を活用した県域高速ネットワーク
[R3]構築(新規項目)
- 徳島ファン・オンラインイベントの開催 [R3～]3件(新規項目)
- 3D・VRショールームでの展示・イベント実施件数
[R4]3件(新規項目)

グリーン社会の構築

- 県版カーボンクレジット取引件数 [R4]6件(新規項目)
- 「私たちの未来をゼロ宣言」宣言者数
[R4]500宣言(新規項目)

新次元の分散型国土の創出

- アワーケーション※推進：地域での社会貢献活動を行う企業数(累計) [R4]20社(新規項目)
※「アワーケーション」は、阿波(徳島)でワーク(働きながら)と観光などバケーション(休暇)を組み合わせる働き方。
- 文化芸術の拠点となる「新ホール」整備
[R3～]設計・施工(新規項目)

3 行動計画編の構成事業等の「重点化」

「重点項目」の設定について

- ・ 新型コロナウイルスによる価値観の変容や、新たな日常「ニューノーマル」に適応しつつ、「3つの国難」打破に向けて取り組むべき事業を「重点項目」として設定
- ・ 「デジタル社会」と「グリーン社会」の実装を効果的なツールとして集中的に推進

R2年度行動計画編

922項目

見直し

R3年度行動計画編(989項目)

「重点項目」

339項目へ絞り込み
アフターコロナを見据えて
重点的に推進

「重点項目」以外の項目

650項目

数値目標等の
「進捗管理」を実施

「重点項目」の 構成事業等の項目数内訳

「国難」の別	項目数 (重複あり)
①コロナ対策	20 項目
②人口減少	178 項目
③災害列島	160 項目
うち「デジタル」	68 項目
うち「グリーン」	53 項目